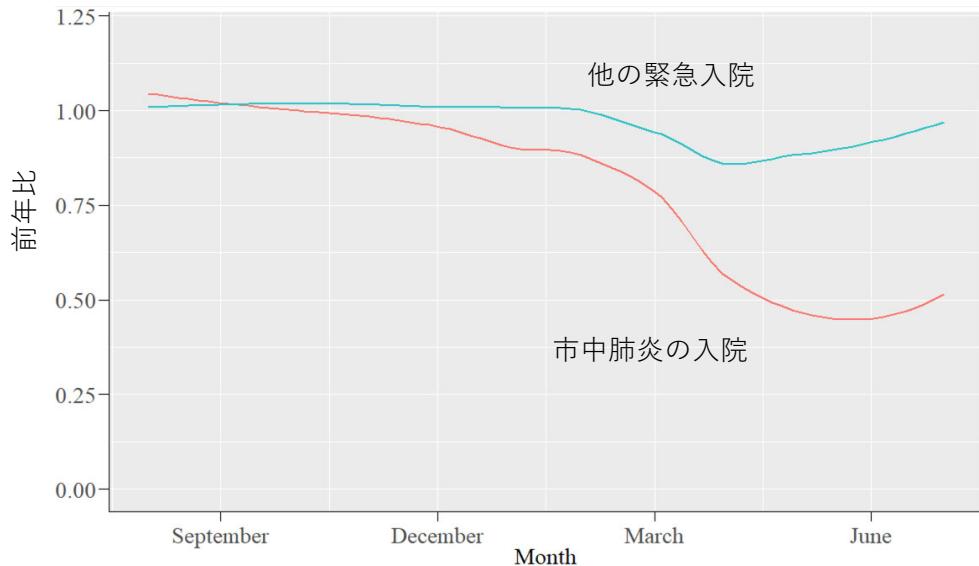


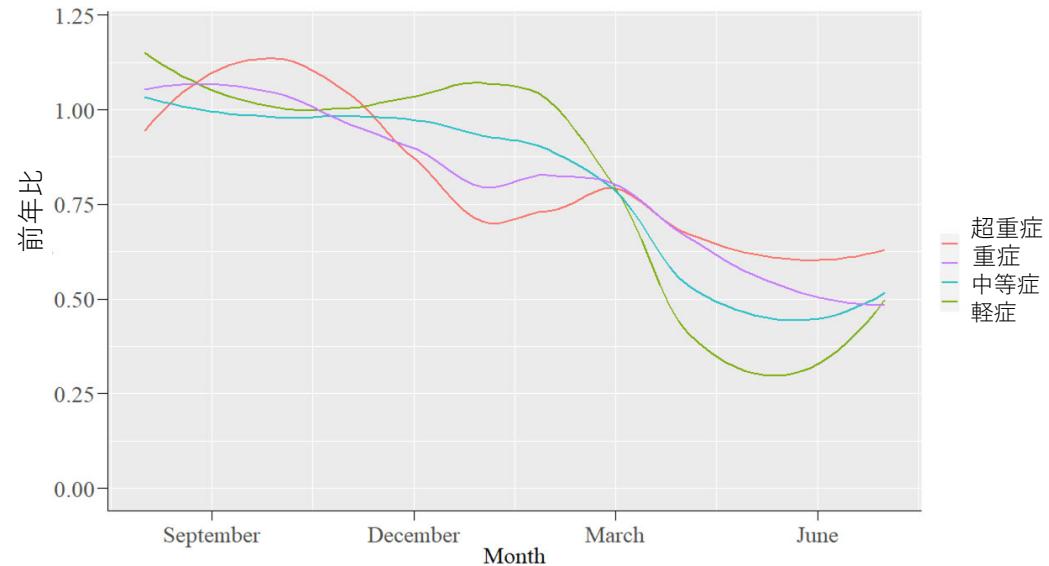
市中肺炎入院に対するCOVID-19流行の影響

International Journal of Infectious Diseases 2021 May; 106: 323–328.

日本における市中肺炎の入院症例数と重症度に対するCOVID-19流行の影響をDPCデータを用いて分析した。



COVID-19流行時（2020年3-7月）に市中肺炎(CAP)の入院症例は前年度と比較し-45.2%と大きく減少した一方で、他の緊急入院は一時的な減少にとどまった。



A-DROPで重症度別に分析すると、軽症例で入院数の前年度比の減少は大きかった（軽症 -55.2%, 中等症 -45.8%, 重症 -39.4%, 超重症 -33.2%）